

令和6年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名)

三木市立三樹幼稚園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や 取組、課題	○ どの子どもも保護者からたっぷりと愛情を注がれて心豊かに育っている。保護者の理解も高く、園の方針や取組を分かっていたきやすい。 ○ クラスの枠を越え、職員全員で子どもたち全員を見る保育を心掛けており、子どもたちの成長や課題等を職員全員で共有している。 ○ 少人数であることが課題ではあるが、逆に少人数の良さを生かし、子どもたちが遊びの中でのびのびとトライ＆エラーを重ね、実体験を通して感性や主体性を育み、仲間と過ごす充実感を味わえるよう心掛けている。
目標	子ども一人一人が自ら意欲的に活動を楽しむとともに、仲間と想いを伝え合いながら活動をさらに発展させ、集団で過ごすことの充実感を味わう。
目標達成 に向けた 具体的な 取組内容	○ してみたいことを実現できるきっかけとなりそうな環境を必要に応じて用意し、そこを糸口に自分たちで主体的に活動しようとする気持ちを支える。 ○ 失敗しても安心して何度も試したり、のびのびと自分の想いを表現したりできるような活動となるよう心掛け、様々な実体験を重ねていけるようにする。 ○ 気づいたり、感じたりしたことに共感しあえる場作りとして、話し合いの場を持ったり、思いや考えを自分で絵に表して視覚的にも仲間に伝わるようにしたりしながら、イメージを共有し合える場を持つ。 ○ 仲間と活動してきたことをクラスや園共通の経験として捉え、所属感を深められるよう働きかける。 ○ 保護者に対しても、自分の子どもだけでなく他の子どもたちの様子も意識的に伝えていくことで、我が子だけでなく周りの子どもたちとの繋がりを感じ、集団で過ごす充実感を味わっていただけるよう心掛ける。
成果	○ どの子どもも自分のしたい気持ちを安心して伝えることができるようになり、新しいことに対してもやってみようとして一歩を踏み出せるようになった。クラス活動での船作りで行きたい外国を調べることがきっかけとなって国旗が大好きになったことから自信をもち、大勢の前でも堂々と発表する姿が見られた。 ○ 様々な実体験を重ねることで、それらの経験が結びつき、繋がって、子どもたちから新たな発見や発想が生まれ、例えばある子どもがタイヤに溜まった水を汲みだすためにポンプを使うことを思いつき、数か月後、それを別の子どもたちが色水遊びの水移しにも使えることを思いつき、工夫して遊ぶ姿が見られた。様々な経験がクラスや園の学びとして広げることができている。 ○ 様々な実体験を重ねていける本園の良さや強みを保護者の方も理解してくださり、子どもの成長を感じてくださっている。
評価	子どもたちの探究する心が育ってきている。さまざまな実体験をもとに、自分たちで何かを追究し、知識や思考力を身につけているといえる。船作りをきっかけに、海外に目を向けて何かを調べたり、月の満ち欠けについてグローバルな視点から考えたりと、身近な物事から着想して深く考える力が育っている。ポンプを使っの遊びが発展し、異年齢間でも遊びが繋がっていく様子は、子どもの自由な発想が展開していった例として興味深い。遊びをつなげて、学びに発展していくためには、保育者の関わりがよく考えられていることが不可欠であり、今ある子どもの姿を的確に捉えた上での日々の実践がなされている証左であるといえる。今後も丁寧に子どもの活動に寄り添い、学びに向かう子どもたちを育てていきたい。